

地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想

埼玉県

1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

本県の県内総生産は20兆5153億円であり、産業別にみると、製造業、サービス業、不動産業、卸売・小売業の占める割合が高く、全体の5割を超える。また、製造業において90%が、サービス業（他に分類されないもの）や卸売・小売業では96%が従業員29人以下であり、大部分が地場の企業である。

これらの地場の中小企業が地域産業の基幹産業となっており、地域経済を支えていることから、これを支援し、振興することは重要な課題である。

本県には、ねぎ、狭山茶等の全国有数の生産量を誇る農林水産物や岩槻人形、春日部桐箆笄、草加せんべい等の特色ある鉱工業品及びそれに係る技術並びに大宮盆栽村や秩父札所などの観光資源といった多種多様な地域産業資源が存在する。

歴史的、地域的に各地方の基幹産業を構成している企業の多くは、上記の地域産業資源を活用しており、川口地域の鋳物、羽生・加須・行田の衣服等は地域経済の発展に大きく寄与してきた。

本県は大消費地・東京に隣接していることから、本県の地場産業も歴史的に東京への製品供給の機能を担ってきた。反面、急激な経営環境の変化の影響を受けやすく、商品開発力をはじめこうした変化への迅速な対応力の面で課題を有している。

地域経済をさらに活性化させるためには、こうした地域産業資源を有効に活用し、創意ある工夫と進取の精神で事業化にチャレンジする取組を推進することが重要である。

2. 地域産業資源の内容

当県において、その産業資源を活用した中小企業による事業を促進する意義があると考えられる資源は以下のとおりである。

(1) 農林水産物

名称	地域産業資源に係る地域
木の芽	さいたま市
ブルーベリー	さいたま市
	美里町
ぶどう	さいたま市
くわい	さいたま市、越谷市
こまつな	さいたま市、上尾市、川越市
	八潮市、草加市、三郷市
ほうれんそう	川越市、所沢市
かぶ	川越市、富士見市
	熊谷市
熊谷産小麦	熊谷市
ホンモロコ	熊谷市、行田市、加須市、羽生市、騎西町、北川辺町
	春日部市、越谷市、久喜市、蓮田市、幸手市、杉戸町、松伏町、さいたま市
ぼうふう	川口市
ちちぶ太白サツマイモ	秩父市

ちちぶ 山ルビー	秩父市
中津川いも	秩父市
秩父のいちご	秩父市
しゃくし菜	秩父市、小鹿野町、皆野町
秩父しいたけ	秩父市、皆野町、長瀬町、小鹿野町、横瀬町
柿	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村
いろどり繭	秩父市、皆野町、長瀬町、小鹿野町、美里町、熊谷市 深谷市、寄居町、東松山市、坂戸市、滑川町
さといも	所沢市、狭山市
なす	本庄市
やまといも	本庄市 熊谷市
きゅうり	本庄市、熊谷市、深谷市
	加須市、羽生市
	小鹿野町
ポインセチア	本庄市、上里町
パンジー	鴻巣市
プリムラ類	鴻巣市
スイートコーン	深谷市
ゆり	深谷市
ブロッコリー	深谷市、本庄市
ねぎ	深谷市、熊谷市、本庄市
にんじん	深谷市、熊谷市
	新座市
トマト	深谷市
	上里町
	北川辺町
	北本市
チューリップ	深谷市
	越谷市
べに花	桶川市
うど	日高市
くり	日高市
なまず	吉川市
富の川越いも	三芳町
梅	越生町
ゆず	越生町、毛呂山町
いちご	川島町、吉見町
	菖蒲町、
	大利根町
	さいたま市 横瀬町
のらぼう菜	小川町、ときがわ町、嵐山町
原木キノコ	ときがわ町

いちじく	騎西町
狭山茶	県全域
埼玉県産米「彩のかがやき」	県全域
埼玉県産米	県全域
埼玉県産麦	県全域
埼玉県産大豆	県全域
埼玉の牛乳	県全域
彩の国黒豚	県全域
彩の国地鶏タマシャモ	県全域
武州和牛	県全域
日本なし「彩玉」	県全域
植木	県全域
芳香シクラメン	県全域
なし	県全域

(2) 鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
岩槻人形	さいたま市
浦和のうなぎ（蒲焼き）	さいたま市
さいたまの印刷製品	さいたま市
さいたまの洋菓子	さいたま市
あついぞ！熊谷 かき氷「雪くま」	熊谷市
熊谷染	熊谷市
吟子鍋	熊谷市
五家宝	熊谷市
聖天さまのいなり寿司	熊谷市
熊谷うどん	熊谷市
川口鑄物	川口市
竹釣竿	川口市
キューポラ定食	川口市
フライ、ゼリーフライ	行田市
秩父カエデ糖	秩父市
秩父ほぐし捺染	秩父市
秩父銘仙	秩父市
手打ちそば	秩父市
みそポテト	秩父市
ホルモン焼き	秩父市
肉の味噌漬け	秩父市
秩父の水	秩父市
小屋飯	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町、東秩父村
押絵羽子板	所沢市、狭山市、新座市、ふじみ野市、富士見市
雛人形	所沢市、狭山市、新座市、ふじみ野市、富士見市

焼だんご	所沢市
西川材	飯能市、日高市、毛呂山町、越生町
加須の鯉のぼり	加須市
手打うどん	加須市 所沢市
つみっこ	本庄市
やきとり	東松山市
春日部桐箆笥	春日部市
麦わら帽子	春日部市
春日部桐箱	春日部市
春日部押絵羽子板	春日部市
武州正藍染	羽生市、加須市、行田市
いがまんじゅう	羽生市
鴻巣雛人形	鴻巣市
煮ぼうとう	深谷市
草加せんべい	草加市、八潮市、越谷市、川口市、鳩ヶ谷市
皮革製品	草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市
越谷ひな人形	越谷市
村山大島紬	入間市、飯能市
さかど葉酸ブレッド	坂戸市
小川和紙	小川町、東秩父村
小川地酒	小川町
ときがわ建具	ときがわ町
かわじま呉汁	川島町
すったて	川島町
こんにゃく	小鹿野町、秩父市
あんぽ柿	小鹿野町、秩父市
日本水	寄居町
埼玉の光学機器	県全域
埼玉の清酒	県全域
埼玉の自動車及びその部分品	県全域
埼玉の医療機器	県全域
埼玉の医薬品	県全域
埼玉の漬物	県全域

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源に係る地域
大宮盆栽村	さいたま市
岩槻の街並み（人形のまち）	さいたま市
浦和のうなぎ屋	さいたま市
鉄道博物館	さいたま市
大宮氷川神社	さいたま市
見沼たんぼ	さいたま市
見沼通船堀	さいたま市

慈恩寺	さいたま市
玄奘塔	さいたま市
時の鐘	さいたま市
田島ヶ原サクラソウ自生地	さいたま市
与野公園	さいたま市
大宮公園	さいたま市
与野の大カヤ	さいたま市
岩槻城址公園	さいたま市
漫画会館	さいたま市
さいたま新都心	さいたま市
中山道	さいたま市
咲いたまつり	さいたま市
与野七福神	さいたま市
彩の国さいたま芸術劇場	さいたま市
けやき並木	さいたま市
埼玉スタジアム2002	さいたま市
浦和駒場スタジアム	さいたま市
大宮公園サッカー場	さいたま市
いちご農園	さいたま市
なし農園	さいたま市
ぶどう農園	さいたま市
さいたまの洋菓子店	さいたま市
大宮花の丘農林公苑	さいたま市
大崎公園・園芸植物園	さいたま市
市民の森・見沼グリーンセンター	さいたま市
別所沼公園	さいたま市
近代美術館	さいたま市
うらわ美術館	さいたま市
ブルーベリー農園	さいたま市
	美里町
蔵造りの町並み	川越市
伊佐沼	川越市
三富新田	川越市、所沢市、狭山市、ふじみ野市、三芳町
あついぞ！熊谷 かき氷「雪くま」参加店	熊谷市
星川通線シボ ^ル ロード ^ト	熊谷市
熊谷桜堤	熊谷市
妻沼聖天堂	熊谷市
荻野吟子記念館	熊谷市
熊谷うちわ祭	熊谷市
熊谷花火大会	熊谷市
元荒川ムサシトミヨ生息地	熊谷市
熊谷ラグビー場	熊谷市

妻沼グライダー滑空場	熊谷市
川口鋳物工場	川口市
安行の植木園	川口市
安行の一輪草自生地	川口市
安行寒桜	川口市
埼玉古墳群	行田市
忍城跡	行田市
古代蓮の里	行田市
和銅採掘遺跡	秩父市
秩父夜祭	秩父市
川瀬祭	秩父市
中津峡	秩父市
旧柿原商店店舗及び主屋	秩父市
二瀬ダム	秩父市
浦山ダム	秩父市
合角ダム	秩父市
滝沢ダム	秩父市
旧秩父橋	秩父市
三十槌の氷柱	秩父市
栃本関跡	秩父市
龍勢祭	秩父市
羊山公園の芝桜	秩父市
旧武毛銀行本店	秩父市
清雲寺(せいうんじ)のサクラ	秩父市
秩父の観光いちご園	秩父市
秩父札所	秩父市、横瀬町、小鹿野町、皆野町
秩父ミュージアムパーク	秩父市、小鹿野町
江戸巡礼古道	秩父市、横瀬町、小鹿野町、皆野町
秩父路のS Lパレオエクスプレス	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、熊谷市、深谷市、寄居町
美の山公園	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村
手打うどん店	加須市
不動ヶ岡不動尊總願寺「節分会」	加須市
浮野の里	加須市
大風あげ祭り	春日部市
牛島のフジ	春日部市
煮ぼうとう店	深谷市
草加松並木	草加市
朝霞市民まつり「彩夏祭」	朝霞市
彩の国鍋合戦	和光市
野火止用水	新座市
久喜の提燈祭り「天王様」	久喜市

北本まつり	北本市
石戸蒲ザクラ	北本市
水子貝塚	富士見市
坂戸よさこい	坂戸市
幸手権現堂堤	幸手市
日高市巾着田曼珠沙華群生地	日高市
なまず料理店	吉川市
越生梅林	越生町
小川町七夕まつり	小川町
慈光寺開山塔	ときがわ町
星と緑の創造センター 堂平天文台	ときがわ町
たまがわ花菖蒲園	ときがわ町
やすらぎの家	ときがわ町
寺坂棚田の景観	横瀬町
カタクリ群生地	横瀬町
芦ヶ久保の獅子舞	横瀬町
長瀨の鮎料理店	長瀨町
長瀨の桜	長瀨町
長瀨の和船	長瀨町
長瀨の岩畳	長瀨町
長瀨の七草寺	長瀨町
月の石もみじ公園の紅葉	長瀨町
宝登山	長瀨町
日本水（湧出地）	寄居町
玉敷公園の大藤	騎西町

3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域の経済の活性化を推進する方策

1. 地域産業資源に関する施策

①地場産業活性化再生支援事業

（施策概要）

産地組合等が行う地域資源を活用した新商品開発、販路開拓、人材育成等を行う事業を支援する。

②地場産業活性化支援事業

（施策概要）

産地組合等による展示会出展等を支援する。

③彩の国ブランド振興事業

（施策概要）

「彩の国優良ブランド品」の認定・PR等を行う。

④ソニックシティ物産観光展示場設置運営費

（施策概要）

県産品の認知度の向上と販路拡大を図るため、「埼玉県物産観光館そぴあ」の運営を支援する。

⑤伝統的工芸品産業振興対策

(施策概要)

伝統工芸士の認定や技術継承者の育成等を行う。

2. 関連する施策

本県においては、中小企業による地域産業資源を活用した事業を促進し、地域経済の活性化を図るため、以下の中小企業支援施策を実施する。

①金融面での支援

制度融資の活用による中小企業の資金調達の円滑化や、無担保・第三者保証人不要の融資制度の活用などにより金融面での支援に努める。

②経営指導の強化

財団法人埼玉県中小企業振興公社に配置したサブマネージャー及び各分野の専門家、さらには商工会、商工会議所、商工会連合会及び中小企業団体中央会に配置した経営指導員等を活用して経営上の各種相談・助言を行う。

③経営革新の促進

中小企業が競争力を強め成長を続けていくためには、市場の変化をいち早くつかみ、それに適合した新商品の開発や新サービスを提供することが重要であることから、中小企業が取り組む経営革新計画の策定・実行を支援する。

④企業連携の推進

中小企業同士が互いの強みを有効に組み合わせた新たな事業展開を促進するため、異業種交流を促進する。

⑤技術支援（産学官連携による研究開発支援）

製品の高付加価値化や消費者ニーズの多様化に対応する企業の新製品、新技術の開発を支援するため、埼玉県産業技術総合センター、産学連携支援センター埼玉、県内大学等が相互に連携しながら研究開発から試作品作成、事業化まで一貫した支援を行う。

⑥知的財産の支援

知的財産総合支援センター埼玉を核として、中小企業の知的財産の創造・保護・活用を促進し、知的財産を活用した新製品や新サービスの開発、高付加価値化を支援する。

⑦中小企業のIT利活用の推進（情報化支援）

さいたまソフトウェアセンターにおける高度IT人材研修や、財団法人埼玉県中小企業振興公社におけるIT相談、ITレスキュー、ホームページ作成支援等を通じて、情報化を支援する。また、創業ベンチャー支援センターにおいて、ITベンチャーやIT活用企業の育成・成長を支援する。

⑧人材育成

環境変化に適切に対応できる人材、IT人材、研究者・技術者等の養成など中小企業を支える人材の育成を支援する。

⑨支援機関の機能強化

財団法人埼玉県中小企業振興公社については、中小企業支援法に基づく中小企業支援センターと中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律に基づく地域プラットフォームの中核的支援機関としての役割を一元化し、一体的事業展開を推進するとともに、民間を含んだ中小企業支援機関との交流・連携体制を整備する。埼玉県産業技術総合センターでは、企業と大学との交流、技術移転、共同研究、研究開発スペースの提供などにより、中小企業の技術革新を支援する。